



第1回 東京会場	
テーマ	「消費者の視点」でつながる教育分野の連携・協働のかたち
開催時期	2022年12月23日(金)
開催地	東京都渋谷区

● 会場参加者(関係者含む)

行政職員等	20
教育関係者	19
学生	5
団体職員・会員	9
企業等	6
その他	3
合計	62

● 視聴のみ参加者(申込者)

行政職員等	23
教育関係者	46
学生	7
団体職員・会員	5
企業等	14
その他	7
合計	102

● オンラインWS参加者(FT含)

行政職員等	5
教育関係者	14
学生	2
団体職員・会員	1
企業等	1
その他	4
合計	27

## ● 成果

- ・ 子供・若者の社会参画を育む消費者教育について共通認識ができた
- ・ 関連する教育分野における相互のつながりの気づきがあった
- ・ 「消費者の視点」から見ることで教育分野の連携・協働の可能性が見えた
- ・ 対話を通して子ども・若者の社会参画を自分事にすることができた
- ・ 対話により、多様な主体との連携・協働の可能性が見えた





第2回 浜松会場	
テーマ	浜松発！地域の多様な主体による 連携・協働のかたち
開催時期	2023年1月16日(月)
開催地	静岡県浜松市

● 会場参加者(関係者含む)

行政職員等	23
教育関係者	42
学生	0
団体職員・会員	22
企業等	10
その他	5
合計	102



● 成果

- ・ 子供・若者の社会参画を育む消費者教育の目指すべき姿が共有できた
- ・ 行政・学校・地域・企業・団体等の具体的な連携・協働について共有できた
- ・ 多様な主体の取組について共有できた
- ・ 多様な主体の交流を通じて子ども・若者の社会参画を自分事にすることができた
- ・ 多様な主体の交流により、連携・協働の可能性が広がった



## ●課題

- ・多様な教育分野への広報
  - 消費者教育は消費者被害防止のための学びであり関係がないと認識されている。
- ・開催地の協力体制のあり方
  - 地域の連携・協働を実現していくためには開催地との共催は効果的。
  - 既に年度がスタートしているため人員・予算等の問題で協力体制が得られにくい。  
円滑な実施のためには前年度からの調整が必要。
- ・講師との調整(事前打ち合わせ及び情報共有・レジюме等)
- ・文部科学省様との進捗の共有方法の工夫